

「ミロコマチコ いきものたちはわたしのかがみ」プレスリリース



《海の呼吸》2020年

展覧会紹介

想像力をふくらませ、躍動感たっぷりの筆致で描いたデビュー絵本『オオカミがとぶひ』によって、彗星のごとく出版業界に登場したミロコマチコ（1981-）は、以後国内外の絵本賞や文芸賞をたて続けに受賞し、常に新作が期待される絵本作家のひとりです。いっぽうで、大きな画面いっばいに生物や植物をのびのびと描き、時には音楽家と共鳴しながら即興でペインティングを行うなど、画家としての活躍にも注目が集まっています。

デビューから約10年、ミロコマチコは、絵本作家、そして画家として、男女問わず、幅広い世代から支持され、デザイナーやアーティストからも一目置かれる存在となりました。とりわけ近年の表現は、従来のエネルギッシュで破天荒なイメージに加えて、どこか霊的な存在をも感じさせるものへと変化し、その世界のさらなるひろがりを感じさせます。自然豊かな奄美大島へ住まいを移し、これまでとは異なる時間の流れや環境のなかで暮らしはじめたこと、そして、この地の伝統的な染色文化に触れたことも、少なからず影響しているのかもしれません。

本展は、「ミロコマチコとは何者なのか」をテーマに、近作・新作を中心とした絵画や絵本原画、書籍の装画や企業とのコラボレーションを展示すると同時に、奄美大島での暮らしや制作風景も紹介しながら、ミロコマチコの底知れぬ魅力に迫ろうとするものです。

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1

○ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp> e-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

取材・画像提供に関すること▶▶▶広報係：小川、八島、江山 電話 046-845-1211

展示内容に関すること▶▶▶担当学芸員：中村、沓沢 電話 046-845-1212

ミロコマチコ プロフィール

1981年大阪府生まれ。いきものの姿を伸びやかに描き、国内外で個展を開催。絵本『オオカミがとぶひ』（2012年、イースト・プレス）で第18回日本絵本賞大賞を受賞。『てつぞうはね』（ブロンズ新社）で第45回講談社出版文化賞絵本賞、『ぼくのふとんは うみでできている』（あかね書房）で第63回小学館児童出版文化賞をそれぞれ受賞。ブラティスラヴァ世界絵本原画ビエンナーレ（BIB）で、『オレときいろ』（WAVE出版）が金のりんご賞、『けもののおいがしてきたぞ』（岩崎書店）で金牌を受賞。その他にも著書多数。第41回巖谷小波文芸賞受賞。展覧会『いきものの音がきこえる』が全国を巡回。本やCDジャケット、ポスターなどの装画も手がける。2016年春より『コレナンデ商会』（NHK Eテレ）のアートワークを手がけている。



撮影：大沼ショージ

展覧会情報

- 1 会場 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1
電話 046-845-1211 (代)
ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp>
e-mail：kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp
- 2 会期 2022年2月11日（金・祝）～4月10日（日）10：00～18：00
休館日：3月7日（月）、4月4日（月）
- 3 観覧料 一般1100（880）円、学生・65歳以上900（720）円、高校生以下無料
*（ ）内は20名以上の団体料金
*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料
- 4 その他 主催＝横須賀美術館、朝日新聞社
協力＝亜紀書房、朝日出版社、朝日新聞出版、味の手帖、iTohen、岩崎書店、幻冬舎、
講談社、小学館、newton、ブレーメン、ブロンズ新社



《音のどうぶつ》2017年

近作

ミロコマチコは、絵本作家デビュー前後から、時には音楽家と共に、延べ50回以上のライブペインティングを行ってきました。本展では、近作として、2016年から2019年のライブペインティングをはじめとした絵画を紹介していきます。



《ふたりの音》2017年

装画・アートディレクション

絵本作家や画家としての活躍のほうが多く知られるミロコマチコですが、書籍の装画や企業とのコレポレーションなど、イラストレーションやアートディレクションといった仕事も数多く手がけています。本展ではその幅広い仕事ぶりが一堂に介します。



《ドクルジン p25-26》2019年

本展では『けもののおいがしてきたぞ』（2016年、岩崎書店）、『まっくらやみのまっくら』（2017年、小学館）、『ドクルジン』（2019年、亜紀書房）の3冊の絵本原画を紹介していきます。

絵本原画

絵本作家としてデビュー以後、ミロコマチコは、1年に約1冊のペースで絵本を発表してきました。2014年を境に、その表現はさらに色彩豊かになり、においや音など五感をも刺激するものへと変容しています。加えて、読み手によってさまざまな解釈ができる余白もうまれました。

山形ビエンナーレ

山形ビエンナーレ2016および2018は、ミロコマチコにとってのターニングポイントであったといっても過言ではありません。動物と山車のまわりとぐるりと回りながら読むのが楽しい立体絵本《あっちの目、こっちの耳》や、山形ビエンナーレ2018で展示されていた《みみなり》が、本展を機に《からだうみ》として生まれかわり、鑑賞者を迎えます。



《あっちの耳、こっちの目 (こうもりのおはなし)》2016年

新作

いきものとして生きるため、2019年6月、ミロコマチコは奄美大島に住まいを移しました。島のほとんどが山で、人間はその山と海のあいだでちいさく暮らしている土地で、彼女は見えないものの音を聞き、その気配を感じるようになったそうです。新作に描かれた不思議な生き物は、まばゆく、決まったかたちを持ちません。彼らは、一体何者なのでしょう。

「ミロコマチコ いきものたちはわたしのかがみ」

2022年2月11日（金・祝） - 4月10日（日）横須賀美術館

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館行き

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア10組分/20枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAXにてご請求ください。必要な図版にしてください。



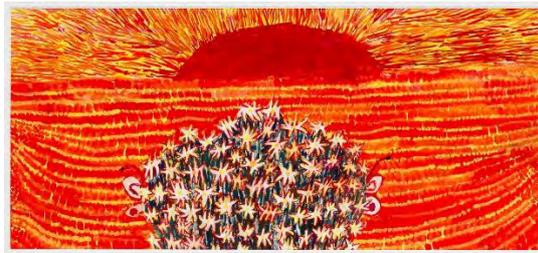
《音のどうぶつ》2017年



《夜を通るいきもの》2020年



《キンパ》2018年



《ドクルジン》2019年



《海の呼吸》2020年

必ずご記入ください⇒ 貴社名 _____ TEL _____

貴誌（紙）名 _____ ご担当者様お名前 _____

メールアドレス（画像データ送付先） _____

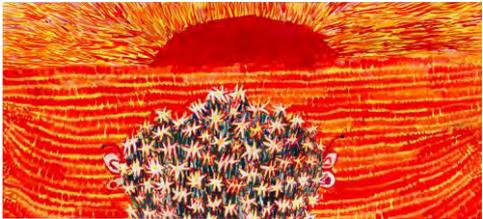
ご要望事項（サイズ・解像度など） _____

チケットプレゼント用招待券 希望する 希望しない

※チケットを20枚以上希望される方は、必要な枚数をお書き添えください。

ご住所（チケット送付先） _____

【広報画像用リスト】

1	 <p>《夜を通るいきもの1》 2020 年</p>	2	 <p>《音のどうぶつ》 2017 年</p>
3	 <p>《ドクルジン》 2019 年</p>	4	 <p>《キンパ》 2018 年</p>
5	 <p>《海の呼吸》 2020 年</p>	6	 <p>Photo:Shoji Onuma</p>
		<p>※画像を使用される際は、かならずキャプション、コピーライトの記載をお願いいたします。</p> <p>©mirocomachiko</p> <p>※画像のトリミングや上に文字を載せることはご遠慮ください。</p>	

○図版の使用等について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度 72dpi 以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館「広報係」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「広報係」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌（紙）、媒体（DVD など）、URL などを「広報係」あてに1部以上お送りください。

○プレゼント用招待券について

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を 20 枚（10 組 20 名様分）

までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

○交通のご案内

■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくは JR「横須賀」駅から
観音崎行バス「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」

下車徒歩 2 分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」

下車徒歩 5 分

■車をご利用の場合

*横浜横須賀道路馬堀海岸 I.C. から約 3km（約 5 分）

